

2024年度第4回 行動科学・サバイバーシップセミナー

テーマ

主観評価をサバイバーシップ研究に組み入れる
-患者報告アウトカムの基礎と導入-

講師

国立がん研究センターがん対策研究所
サバイバーシップ研究部 宮路天平 先生

日時

2024年8月27日(火)17:00~18:00

開催形式

完全WEB開催(Zoom)

参加費

無料

参加申込

QRコードまたはURLよりお申込みください
<https://forms.gle/CBp7ruV2mtm9kPHp8>
(セミナー終了時間までお申込みいただけます)



セミナー要旨

全がん連サバイバーシップ委員会の2022年の調査によると、がんを経験した人々が抱える困り事として、「気持ちのつらさ」、「痛み」、「倦怠感」、「再発の不安」など、主観的な症状が多く報告されています。これらの問題を研究する場合には、適切な患者報告アウトカム(PRO)尺度を用いて、計画する必要があります。この講演では、PROの基礎と研究への組み入れ方について紹介します。

講師プロフィール

2016年より国立がん研究センターに特任研究員として勤務。
東京大学や国立精神・神経利用研究センターにも特任研究員として在籍。専門は、臨床データマネジメント、患者報告アウトカム。
研究者プロフィール(Researchmap) <https://researchmap.jp/tempeimiyaji>

主催

国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学・サバイバーシップ研究部
SaQRA (日本がんサバイバーシップ研究グループ)
早稲田大学人間科学学術院・名古屋市立大学大学院

問合せ先

SaQRA事務局 saqra_contact@ncc.go.jp

